ことばのおたより

一般財団法人 三宅医学研究所
てふてふ
令和4年 ９月

日中は夏と変わらない暑さが続いていますが、日が落ちるのが随分と早くなり、どことなく秋の気配を感じる季節となりました。公園の葉っぱの色が変わる季節が来る前に、今月は色水を使って色遊びをします。

7月のスライム遊びでは、みんな思い思いにスライムを混ぜ、「色が変わったよ！」「キレイな色になったよ！」と目を輝かせながら教えてくれました。

子どもたちが今度はどんな発見をするのか、私たちも楽しみにしています。

思い切り遊べるように、汚れても良い服の用意をお願いします。

色水遊びは絵の具などで水に色をつけ、その色を楽しんだり、それを混ぜたりする遊びです。色が変化する様子を観察することで色彩感覚を育み、想像力を磨く効果があります。視覚は人の感覚の約 80%を担っていると言われており、たくさんの色やその色の変化を楽しむ色水遊びは脳の発達に良い影響を与えてくれます。

子どもは生後4カ月頃から大人と同じように色を認識できていると考えられていますが、基本の色の名前が分かるのは2歳から3歳頃です。同じ「赤」でも「濃い赤」と「薄い赤」があるなど、豊かな色彩の経験ができるといいなと思ってます。